

株主の皆様へ

第65期のご報告

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



おしゃれのとなりに
株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第65期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）における営業の概況と決算につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長 藤井 一郎

▶ 当期の概要

販売面では、国内外ともに取り組んできた諸課題の成果も見え始めましたが、原材料高や海外人件費の上昇などが影響し、収益回復の足かせとなりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日銀による経済対策や金融緩和の効果により、株高や円高是正が進み、輸出関連企業を中心に業績も改善傾向にあるほか、高額商品を中心に消費税増税前の駆け込み需要なども見られましたが、一方で円安による食料品や生活必需品の価格上昇傾向は、節約志向の継続に繋がるなど、景気の回復感はまだら模様となりました。

また、海外経済においては、中国やアジア新興国の経済の下振れリスクが懸念されるなど、不透明感が高まっております。

当縫い糸業界におきましては、消費にばらつきがあり、デフレ傾向から脱却できない状況が続いたほか、エネルギーコストや輸入原材料価格の上昇、中国の人件費の上昇が国内外の製造原価を押し上げるなど、特に生産

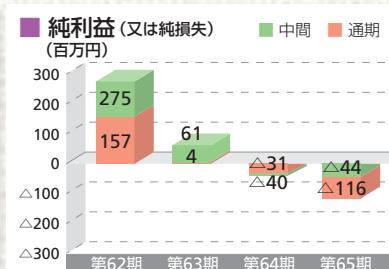
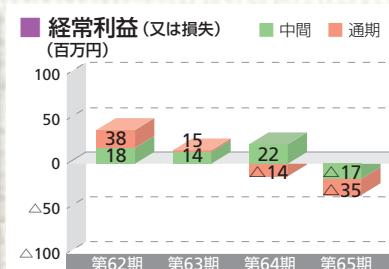
面においては逆風となり、厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは国内外におけるそれぞれの課題に引き続き取り組んだ結果に加え、円安による影響もあって、国内事業、アジア事業ともに増収となり、当連結会計年度の売上高は7,008百万円（前期比13.6%増）となりました。

しかし利益面につきましては、売上高の増加や国内販管費の削減など、増益要因もありましたが、アジア事業の先行経費負担に加え、原材料価格や海外人件費の上昇などの減益要因も大きく、営業損失は44百万円（前期は49百万円の損失）、経常損失は35百万円（前期は14百万円の損失）となりました。

また前連結会計年度には中国子会社の移転に伴う受取補償金を特別利益に計上しましたが、当連結会計年度は発生しなかったため、当期純損失は116百万円（前期は31百万円の損失）となりました。

財務ハイライト（連結）



▶ セグメント別の実績

■ 日本

株高や円高是正が進んだことによる消費マインドの好転や、消費税増税前の高額品を中心とした駆け込み需要など、個人消費の増加要因も見られた一方で、円安に伴う食料品・生活必需品や電気料金の価格上昇は節約志向の継続にも繋がっており、企業業績や景気の回復感はまだら模様で、衣料品や手作りホビー関連業界では、消費にもばらつきが見られるほか、いまだにデフレ傾向から脱却できません。

また、円安に伴い、輸入原材料価格やエネルギーコストの上昇が製造原価を押し上げるなど、特に生産面においては厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループは、昨秋、工業用縫い糸の価格改定を実施したほか、国内事業立て直しに向けた取り組みを地道に進めており、国内子会社も含めてこれらの成果も徐々に表れつつあることに加え、消費税増税前の衣料品の駆け込み生産も見られたことから、当セグメントの売上高は5,241百万円（前期比5.4%増）となりました。

また利益面は、売上高の増加や、販管費の削減など、諸策の成果による増益要因もありましたが、製造原価の上昇傾向などもあり、損失幅は縮小傾向にあるものの、セグメント損失は140百万円（前期は190百万円の損失）となりました。

■ アジア

当期間のアジア地域の縫製につきましては、人件費の上昇を始め、中国における様々なリスクを回避するために、引き続きアセアン諸国への分散傾向が続いており、中国における縫製業は競争が激化するとともに、沿海部から内陸部への移動や淘汰も進行しつつあります。

当社グループは、中国においては、衣料用に加え、カーシート用などの自動車関連分野にも領域を広げると共に、引き続ききめ細かなサービスや高い品質を武器に販売努力を続けました。なお、移転を進めていた上海の生産子会社、富士克制線有限公司は、平成25年12月より生産を継続しながら順次設備の移設を開始しました。

また、当社グループは、平成23年以降、タイおよびベトナムに販売会社を設立して、アセアン諸国に分散傾向にある縫製市場への販売対策も進めつつあり、徐々にその成果も表れてきております。これらに加え、円安による影響もあって当セグメントの売上高は1,766百万円（前期比47.6%増）となりました。

しかしながら利益面につきましては、原材料価格や人件費の上昇、アジア事業拡大のための先行的な経費負担もあって、セグメント利益は101百万円（前期比20.3%減）にとどまりました。

▶ 今後の見通しと当社グループが対処すべき課題

今後の見通しと中長期的な事業環境

先行き不透明なアジア情勢などが懸念されますが、グループとしての収益力回復を図りつつ、引き続き中長期の諸課題に全力で取り組んでまいります。

今後の見通しにつきましては、国内経済は引き続き緩やかな回復傾向が期待されますが、消費税増税と生活必需品の価格上昇による消費マインドの動向や、より幅広い賃金上昇の実現の可否による個人消費の先行きが注目されます。また海外においては、政治情勢を背景とする経済不安、中国やアジア新興国の景気減速など、先行きの懸念材料も多く、経営環境は国内外ともに引き続き不透明な状況が続くと思われます。

しかしながら、中長期的な事業環境については、当社グループは次のように考えております。

工業用縫い糸事業

工業用縫い糸の事業については、経済成長の続くアジア諸国全体を見れば、衣料品や自動車等の消費拡大に伴い、縫製業の増加と縫い糸需要の拡大が見込まれるため、今後も衣料用、非衣料用ともにアジア諸国における販売拡大が期待できる。また近年、海外への生産移転と縫製従事者の減少で縮小を余儀なくされてきた日本国内においても、独自性や機能性の高い製品の開発や高質できめ細かなサービスの提供などにより、シェアの低い地域での販売拡大が可能である。

家庭用縫い糸事業

家庭用縫い糸の事業については、近年、国内の手作りホビー分野におけるソーイング（縫い物）需要はライフスタイルの変化などに伴って漸減傾向が続いてきたものの、価値観の多様化に伴い、中長期的には、国内における手作りホビーの潜在需要の掘り起こしが可能である。また、欧米市場においては、当社グループのシェアは極めて低く、独自性や機能性の高い製品の開発によって、市場へのさらなる参入が可能であるほか、今後も経済成長が見込まれるアジア諸国においては、生活水準の向上とライフスタイルの変化に伴い、今後手作りホビー市場の成長が期待できる。

上記の事業環境を踏まえて、当社グループは中長期的に右記の諸課題に取り組んでおります。

会社が対処すべき課題

- (1) 連結子会社 株式会社 F T C とともに、引き続き技術開発、製品開発に努めるとともに、生産および販売システムの効率化により、コストダウンと納期短縮を始めとする顧客サービスの向上を徹底し、家庭用から工業用、衣料用から非衣料用まで幅広い品揃えを有するメーカーグループとなること。
- (2) 経済成長とともに衣料品や自動車などの生産が拡大しつつある中国を始めとする東南アジア市場を見据えて、現在の海外連結子会社を活用することはもちろん、今後はアジア市場での生産・販売拠点をさらに整備・拡充して現地供給体制の強化を図り、生産の一極集中リスクを軽減しつつ、東南アジア縫製市場の開拓を一層推し進めること。
- (3) 近年、縮小傾向を余儀なくされてきた国内縫製市場においては、国内連結子会社 3 社との連携を強化しつつ、さらなるシナジー効果を発揮して、供給体制はもちろん、当社グループならではの高質できめ細かな顧客サービスの構築に努め、衣料用・非衣料用ともにさらなるシェア拡大を図ること。

- (4) 漸減傾向の続いてきた手作りホビーの国内市場に対して、提案や情報発信を継続し、潜在需要の掘り起こしに努めるとともに、独自の製品開発や蓄積したノウハウを活かして、欧米諸国はもちろん、今後成長が期待されるアジア諸国も含めて、海外手作りホビー市場のさらなる開拓に努めること。
- (5) 人材の育成と活性化の図れる環境を整備し、長寿企業として事業のさらなる継続を目指して技術やノウハウの継承を行うこと。
- (6) 社会的信頼の維持はもとより、環境負荷の軽減をはじめ、企業としての社会的責任を果たすこと。

当社グループは引き続き、国内外連結子会社が一層の連携を図りつつ、上記の諸課題に取り組み、早期の業績回復とさらなる成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表

▶ 連結貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	科 目	当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	7,431,226	7,075,563	流動負債	1,130,844	1,202,774
現金及び預金	2,623,592	2,701,163	買掛金	684,208	570,702
受取手形及び売掛金	1,572,551	1,394,206	リース債務	5,523	5,289
電子記録債権	29,009	—	未払金	128,103	113,751
商品及び製品	1,631,941	1,539,188	未払法人税等	59,743	46,152
仕掛品	816,961	773,559	賞与引当金	64,506	66,492
原材料及び貯蔵品	644,557	579,571	移転損失引当金	19,041	95,602
繰延税金資産	14,049	23,700	その他の	169,718	304,782
その他	111,130	72,920	固定負債	1,182,464	713,561
貸倒引当金	△12,566	△8,746	長期借入金	247,929	41,070
固定資産	3,695,296	3,442,246	リース債務	21,871	27,394
有形固定資産	2,013,130	1,795,436	繰延税金負債	399,954	332,279
建物及び構築物	1,288,244	764,987	退職給付引当金	—	83,286
機械装置及び運搬具	377,590	320,716	退職給付に係る負債	276,255	—
土地	261,976	261,976	役員退職慰労引当金	187,785	174,637
リース資産	11,724	15,633	資産除去債務	20,402	20,330
建設仮勘定	40,659	399,398	その他	28,265	34,562
その他	32,935	32,723	負債合計	2,313,308	1,916,336
無形固定資産	222,242	184,430	純資産の部		
投資その他の資産	1,459,923	1,462,379	株主資本	7,644,735	7,851,421
投資有価証券	1,057,491	1,001,943	資本金	923,325	923,325
長期貸付金	109,272	136,164	資本剰余金	758,014	758,014
長期前払費用	6,831	28,589	利益剰余金	6,070,477	6,276,511
その他	291,080	300,793	自己株式	△107,081	△106,429
貸倒引当金	△4,752	△5,111	その他の包括利益累計額	513,646	297,078
資産合計	11,126,522	10,517,809	その他有価証券評価差額金	283,653	235,586
			為替換算調整勘定	419,393	61,491
			退職給付に係る調整累計額	△189,400	—
			少数株主持分	654,832	452,974
			純資産合計	8,813,213	8,601,473
			負債・純資産合計	11,126,522	10,517,809

▶ 連結損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売 上 高	7,008,014	6,168,284
売 上 原 価	5,126,897	4,415,102
売 上 総 利 益	1,881,117	1,753,181
販売費及び一般管理費	1,925,711	1,803,114
営 業 損 失	44,593	49,932
営 業 外 収 益	66,490	74,725
営 業 外 費 用	57,454	39,299
経 常 損 失	35,557	14,507
特 別 利 益	66	216,894
特 別 損 失	1,914	22,497
税金等調整前当期純利益(△は損失)	△37,406	179,889
法人税、住民税及び事業税	47,443	35,619
法人税等調整額	21,967	89,852
少数株主利益調整前当期純利益(△は損失)	△106,817	54,417
少 数 株 主 利 益	9,582	86,118
当 期 純 損 失	116,400	31,701

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,622	379,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317,202	△505,322
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,068	△133,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	85,725	36,152
現金及び現金同等物の減少額	△39,786	△223,476
現金及び現金同等物の期首残高	1,425,545	1,649,022
現金及び現金同等物の期末残高	1,385,759	1,425,545

▶ 連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額				少数株主分	純資産合計
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当 期 首 残 高	923,325	758,014	6,276,511	△106,429	7,851,421	235,586	61,491	—	297,078	452,974	8,601,473
連結会計年度中の変動額											
剰 余 金 の 配 当			△86,137		△86,137						△86,137
従業員奨励及び福利基金繰入額			△3,495		△3,495						△3,495
当 期 純 損 失			△116,400		△116,400						△116,400
自己株式の取得				△652	△652						△652
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						48,066	357,901	△189,400	216,568	201,857	418,425
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△206,033	△652	△206,685	48,066	357,901	△189,400	216,568	201,857	211,739
当 期 末 残 高	923,325	758,014	6,070,477	△107,081	7,644,735	283,653	419,393	△189,400	513,646	654,832	8,813,213

注1 国内連結子会社は平成25年2月～平成26年1月(1月決算)、海外連結子会社は平成25年1月～12月の業績が連結されております。

注2 平成23年にタイ国サハグループとの合併で設立した持分法適用関連会社FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.(タイ バンコク)は、平成25年8月に増資を行い、主に当社がこれを引き受けて連結子会社となったことにより、第3四半期より同社の業績が連結されております。

個別財務諸表

▶ 個別貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当事業年度 (平成26年3月31日現在)	前事業年度 (平成25年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	4,295,480	4,418,728
固定資産	4,133,589	4,044,267
有形固定資産	1,012,661	1,089,243
無形固定資産	25,807	35,593
投資その他の資産	3,095,120	2,919,430
資産合計	8,429,069	8,462,996
負債の部		
流動負債	383,493	367,324
固定負債	390,596	353,173
負債合計	774,089	720,498
純資産の部		
株主資本	7,371,326	7,506,910
資本剰余金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	5,797,069	5,932,001
自己株式	△107,081	△106,429
評価・換算差額等	283,653	235,586
その他有価証券評価差額金	283,653	235,586
純資産合計	7,654,980	7,742,497
負債・純資産合計	8,429,069	8,462,996

▶ 個別損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	前事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	3,895,842	3,642,632
売上原価	2,830,792	2,612,908
売上総利益	1,065,050	1,029,724
販売費及び一般管理費	1,172,603	1,194,108
営業損失	107,553	164,383
営業外収益	74,939	130,920
営業外費用	14,013	11,986
経常損失	46,627	45,449
特別利益	66	—
特別損失	38	586
税引前当期純損失	46,600	46,036
法人税、住民税及び事業税	11,910	11,404
法人税等調整額	△9,716	△4,530
当期純損失	48,793	52,909

▶ 個別株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	923,325	758,014	5,932,001	△106,429	7,506,910	235,586	235,586	7,742,497
事業年度中の変動額								
剰余金の配当			△86,137		△86,137			△86,137
当期純損失			△48,793		△48,793			△48,793
自己株式の取得				△652	△652			△652
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						48,066	48,066	48,066
事業年度中の変動額合計	—	—	△134,931	△652	△135,583	48,066	48,066	△87,517
当期末残高	923,325	758,014	5,797,069	△107,081	7,371,326	283,653	283,653	7,654,980

会社の概要 (平成26年3月31日現在)

事業内容

当社グループは、家庭用縫い糸及び工業用縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売並びに手芸関連商品及び縫製副資材等の販売も行っております。

創業 大正10年(1921年)3月

設立 昭和25年(1950年)1月

資本金 923,325,000円

従業員数 140名*パート21名を含む(連結422名)

事業所

本	社 管理部・営業本部・研究開発室	京都市北区
東 京 支 店	営業部	東京都台東区
滋 賀 事 業 所	生産部・物流部門	滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門	秋田県横手市

連結子会社

国内

株式会社FTC (生産会社 京都 東京 岐阜 福井)

株式会社シオン (販売会社 秋田)

株式会社ニットマテリアル (販売会社 山梨)

海外

上海富士克制線有限公司 (生産会社 上海)

上海富士克貿易有限公司 (販売会社 上海)

富士克国際(香港)有限公司 (販売会社 香港)

上海新富士克制線有限公司 (販売会社 上海 大連 南通 南京 寧波 青島 北京)

上海福拓線貿易有限公司 (販売会社 上海)

FUJIX VIETNAM Co.,Ltd. (販売会社 ベトナム・ホーチミン)

FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd. (販売会社 タイ・バンコク)

役員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役 藤井 一郎 取締役社長兼生産本部長

常務取締役 松岡 繁生 営業本部長 アジア総代表

取締役 山本 和良 管理部長

取締役 森川 昌治 営業本部長代行 国内営業統括

常勤監査役 新江 正幸

社外監査役 中村 利雄 弁護士

社外監査役 中野 雄介 公認会計士

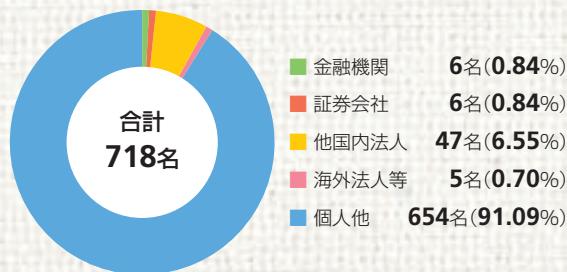
株式の状況 (平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数	19,945,000株
発行済株式の総数	7,340,465株
株主数	718名
大株主	

	保有株式数 (千株)	比率 (%)
㈱FJ興産	793	11.51
藤井多鶴子	717	10.41
藤井眞津子	396	5.75
小原京子	382	5.55
森本町子	328	4.76
鈴木直子	328	4.76
藤井一郎	220	3.19
藤井太郎	200	2.90
株式会社三井住友銀行	184	2.68
フジックス社員持株会	170	2.47

(注) 当社は、自己株式451千株を保有しておりますが上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除外して計算しております。

株主分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 (1) 定時株主総会・期末配当金 3月31日
 (2) 中間配当金の支払いを行うとき 9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063

郵便物の送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

及び照会先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(URL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 電子公告としております。

公告アドレス <http://www.fjx.co.jp> (当社ホームページ)

証券コード 3600

【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様の住所変更等のお届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡下さい。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(証券保管振替機構)を利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届けは、上記の電話照会先をお願い致します。



平成26年3月

上海富士克制線有限公司の新築移転が完了

中国・上海市の連結子会社 上海富士克制線有限公司の新工場の新築移転工事が完了し、去る3月28日に開業式を挙行了いたしました。同時に、同社の子会社で同じく連結子会社の上海新富士克制線有限公司も同じ建屋に移転し、製販の拠点を統合しました。今後は、製造・販売の拠点統合のメリットを活かし、中国国内での販売強化を図ってまいります。



平成26年5月

シャップスパン発売40周年記念コンテスト開催

昭和49年、日本国内では綿糸や絹糸など天然繊維が一般的であった当時、「シルクシステム」という紡績方法で製造されたポリエステル原糸を使い、他社に先駆けて、合成繊維の縫い糸「シャップスパン」を発売しました。どんな布地にもなじむ縫い糸として、現在では、ホームソーイングには欠かせないアイテムとして国内で最もポピュラーな縫い糸に成長しました。

発売40周年を記念して、現在「大好き！ シャップスパン」フォトストーリーコンテストを開催中です。



フジックスグループNetwork

- ◆ 営業部門
- 生産部門



ホームページのご案内
 会社情報や製品情報をはじめ、手づくりファンのための情報サイト「そーいんぐ.com」では手づくりレシピや手づくりコンテスト、ぬい糸選びチャートなど様々なコンテンツをご用意しております。

<http://www.fjx.co.jp/>

